

## 事業完了報告書

### 調査研究期間等

調査研究期間	委託を受けた日 ～ 平成29年3月17日
調査研究事項	<p>《委託研究Ⅰ》</p> <p>【八尾市立八尾中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導に関すること</li> <li>・生徒指導に関すること</li> </ul>
調査研究のねらい	<p>【八尾市立八尾中学校】</p> <p>八尾市立八尾中学校夜間学級の特徴は、90%を越える外国籍の生徒(日本国籍の者も大半が帰化・引揚げ帰国者)がおり、その国籍も日本、中国、韓国・朝鮮、ベトナム、インドネシア、タイと多様である。年齢も17～80歳までと幅広い。これらの生徒が、日本語の習得状況に応じたクラス別に学習している。</p> <p>入学時点では殆ど日本語を話すことのできない生徒が大半で、母語での読み書きができない生徒もいる。中学校の教育課程の学習以前に日本語の修得が必要である。</p> <p>貧しく狭い生活環境(就学援助を受ける者約20%、生活保護を受ける者約15%、同国人同士でしか繋がれない狭いコミュニティ)、外国籍であるが故に借受が困難な住宅環境、過度な労働環境(安い時間給、多い残業、不規則な労働時間)、適切でない食生活等からの生活習慣病、年齢からくる学習到達速度や学習の定着率の低さなど、様々な課題を抱えている生徒が多い。また、夜間学級内での生徒間の間違った国際理解(昨今の主にアジアでの国際問題からくるもの)は、改善を図るべき喫緊の課題の一つである。</p> <p>夜間学級での学習が、生徒たちが日本の社会で安心、安全、心穏やかに暮らしていくための「いきる力」の習得になる。そのための学習指導(特に日本語指導)・生徒指導(特に生活指導)を研究していく。既成の日本語教材・指導書等を基に、本学級に適した形で応用、発展させ、効果的な教材・指導方法を研究し体系化し記録し、積み上げていきたい。</p>
調査研究の成果	<p>◎本年度の取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導に関すること</li> </ul> <p>①7組～4組までの日本語学習を必要とする生徒への支援を行うクラスでは、例年と同じように日本語の習得状況に応じて7組→6組→5組→4組と半期ごとに学級編成を行い進級させた。また特に習得の速い生徒は半期途中でも進級させた。また、進級はしたが家庭状況などの理由により出席が難しい時期が</p>

あったり、高齢などのため学習した内容を忘れてしまった場合は、生徒本人と相談のうえ元のクラスに戻って学習支援をした。

②3組～1組は本来の中学校教育課程での編成である。本年度は進級者が多かったが「既卒の生徒の入学、高齢のため学校で長い時間過ごせない者の増加、働き盛りのため思うように登校できない者が多い」等の理由により学習進度に差ができた。そのため、例年以上に個別の対応が必要となり工夫した。

③日本語指導力の向上のための教員研修を行っているが、本年度は大阪YWCAを訪ね、日本語指導の模擬授業を参観し、後に教授方法などの研修を受けた。また、その席で大阪YWCAと本学級で連携できることはないか論議した。

④研究授業での指導方法の改善はもちろん、自主教材の作成には力を入れているが特に総合の時間に使用立つ教材を工夫した。

・生徒指導に関すること

①来年度進学予定の者が居り、保護者、本人と進路懇談し、学習体制を検討

②生徒の生活相談に応じ弁護士への相談のアドバイス等

③結核検診における精密検査等の指導

学校検診における精密検査、特定検診等の付き添い

不妊治療の助成金申請の保健所への届けの相談と援助

国民健康保険の請求や滞納の対応等について市役所への相談援助

④市営住宅申し込みの書類の書き方等の援助

⑤年末調整の書き方指導

⑥保険金請求の書類の書き方援助

⑦年金納入について相談対応

⑧生徒の新たに渡日した学齢期の子弟の教育相談等の対応

⑨労働環境についての相談対応や会社への問い合わせ

⑩生活保護関連の手続き援助

⑪生活習慣病を意識した料理、子ども孫の弁当を目的とした日本料理の調理実習

その他多岐にわたる生活相談への対応

◎成果について

専門以外の日本語指導力の向上は本学級の最優先課題の一つで

あるが、正解が見えない中でも毎年研修を重ね、それぞれの教員の方向性の正しさの確認や、修正ポイントを少し見ることができた。しかし、課題は尽きない。

生徒指導、生活指導の相談の中で外国籍生徒の課題を捉え教科指導、教材作成等に活かしている。また、それが生徒の心配事を取り除き、出席を助けることにもなっている。しかし、どうしても生活が優先となり、出席したくてもできない生徒は多い。

生徒たちにとって、夜間学級は学習できる場所である以上に安心できる居場所であり、なんでも相談に応じてくれる(実際には対応できない事案の方が多いのであるが)信頼する教員のいるところであり、特に高齢の生徒たちにとっては重要なセーフティーネットとなっている。卒業生のほとんどが卒業を望んでいない。